

ひらか 連携ニュース

当室では、患者さんの療養生活における多様な課題について、かかりつけ医を含めた多職種で共有・解決し、その人らしく安全に、安定した療養生活を継続できるよう、退院時共同指導を推進しています。今年度は退院支援専任看護師の活動により、院内カンファレンスが済み、共同指導の開催件数は7件と減少しましたが、支援するスタッフや家族が一堂に顔を合わせ、話し合いをすることにより、支援チームの和が生まれ、患者さん・ご家族の安心へとつながっています。

今回は、今年度開催された「退院時共同指導」の概要について、ご紹介します。

病院から在宅へ、安心をつなぐ ～退院時共同指導～

<平成29年度 退院時共同指導の概要>

病棟	年齢・性別	疾患名	家族の想い	主な指導内容
7はな	80代 男性	脳梗塞 心房細動	できるだけ安定した状態を維持してほしい。 (娘)	<ul style="list-style-type: none"> 入所施設担当者との情報共有 寝たきり状態に伴う合併症のリスクと予防方法
8もり	80代 女性	呼吸不全 不明熱・副腎不全	できるだけ手をかけて、自宅で生活ができるよう母を支えたい。 (娘)	<ul style="list-style-type: none"> 再燃しやすい症状への対処法 体力低下に伴う介護サービスの見直し、介護上の留意点
4はな	20代 男性	誤嚥性肺炎 脳性麻痺	私と妻の健康を前提に息子の介護が成り立っている。今後が心配。 (父)	<ul style="list-style-type: none"> 誤嚥性肺炎予防のための呼吸リハの方法、吸引の方法 障害者施設利用時の留意点
6もり	80代 女性	急性腎盂腎炎 腰部脊柱管狭窄症	入院前より自分で動けなくなり心配。往診となり、安心した。 (息子)	<ul style="list-style-type: none"> 脊椎の圧迫症状による排尿障害や尿路感染症再発の危険性 通所リハでの留意点
6はな	80代 女性	脱水症 狭心症・認知症	自分も体調が悪いので、介護に不安がある。 (娘)	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患がある主介護者に対する信頼関係と支援体制の構築 適切な介護サービスの選択
6もり	90代 男性	慢性心不全 認知機能低下	安静にするように話しても、自分で動いてしまうので困っている。 (嫁)	<ul style="list-style-type: none"> 症状再燃予防のための日常生活の留意点(食事・運動等) 本人の想いに添った居住環境
7はな	70代 女性	糖尿病 くも膜下出血後	退院後もリハビリを続けて、好きなものを食べたり、車椅子に座る時間を作ってあげたい。 (娘)	<ul style="list-style-type: none"> インスリン導入に伴う療養上の留意点、薬剤師との連携 訪問リハ(OT・ST)の目標と訓練内容の検討

退院時共同指導料の見直し！～平成30年診療報酬改定～

退院時共同指導において、医師および看護師以外の医療従事者が共同指導する場合も、評価の対象となるように見直されました。したがって、4月からは、退院後の在宅療養を担う保険機関、入院中の保健医療機関の保険医または保険医の指示を受けた看護師等、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、もしくは社会福祉士と共同して指導を行った場合、算定が可能となります。

多職種の専門性を活かし、患者・家族のニーズに応じたより質の高い退院支援を実践していきましょう！